

2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マクアケ

 コード番号 4479 URL <https://www.makuake.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 亮太郎

問合せ先責任者 (役職名) IR部 部長 (氏名) 金 廷賢 TEL 03-6328-4038

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の業績 (2023年10月1日~2024年6月30日)
(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	2,731	△1.7	△114	—	△110	—	△162	—
2023年9月期第3四半期	2,779	△16.4	△459	—	△454	—	△462	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	△12.78	—
2023年9月期第3四半期	△36.75	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	6,697	4,951	73.2
2023年9月期	7,955	5,105	63.5

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 4,902百万円 2023年9月期 5,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想 (2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,603	△5.4	△97	—	△93	—	△152	—	△12.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年9月期3Q	12,704,700株	2023年9月期	12,636,700株
2024年9月期3Q	180株	2023年9月期	130株
2024年9月期3Q	12,687,872株	2023年9月期3Q	12,585,566株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社は、「生まれるべきものが生まれ 広がるべきものが広がり 残るべきものが残る世界の実現」というビジョンのもと、「世界をつなぎ、アタラシイを創る」をミッションに掲げ、世にない新しいものを提供するプロジェクト実行者（事業者）と新しいものや体験を作り手の思いや背景を知った上で応援の気持ちを込めて購入するプロジェクトサポーター（生活者）をつなぐ応援購入サービスMakuakeを運営しております。

また、付随サービスとして企業等が有する研究開発技術を活かした新事業の創出をサポートするMakuake Incubation StudioやMakuakeにおける応援購入金額の拡大をサポートする広告配信代行、プロジェクト終了後ECサイトにて継続販売するMakuake STORE、海外からの応援購入を受け付けるECサイトMakuake Global、全国各地の様々な業態のパートナー企業と連携しMakuake発の商品をリアル店舗で展示・販売するMakuake SHOP等を提供しております。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境に対する各種政策効果もあり、個人消費の緩やかな回復が続いていました。しかしながら、米国における高い金利水準の継続や国際情勢による原材料価格の上昇、供給面での制約等に起因する物価上昇が続いていることが影響し、個人消費に足踏みがみられております。また、日米金利差の拡大や世界的なインフレの継続及び日銀の金融政策による金利上昇等で経済の回復ペースが鈍化しており、依然として先行きは不透明な状況となっております。なお、2024年1月の能登半島地震が経済に与える影響についても十分留意が必要です。

当社を取り巻く市場環境としては、新型コロナウイルス感染症に関する各種制限が解除されてから始まったオフラインを中心とするリ・オープニング（経済再開）が体験への消費、中でも旅行、イベント参加、飲食等に強くみられ、この流れは当事業年度においても継続することが予想されます。

このような状況のもと、当第3四半期累計期間のうち、第2四半期累計期間まではリピート実行者及びリピートサポーター向けの各種施策を、第3四半期からは優良な新規及びリピート実行者の獲得を中心とした各施策を展開し、プロジェクト掲載開始数の拡大よりも1プロジェクト当たりの単価の向上に注力してまいりました。

実行者向けには、良質なプロジェクトの創出を促すため、継続的な接点づくりを進めるとともに、目標の応援購入金額が大きいプロジェクトを中心に各種付随サービスを活用した単価向上のサポートを強化しました。また、全てのプロジェクトにおいて応援購入金額を伸ばしていく上で大きな影響を与える初日の応援購入金額の最大化に注力しました。

他方、サポーター向けには、当社が定める基準に基づき認定した推奨実行者に付与する独自のマークやサポーターによる実行者評価をプロジェクトページに表示することでサポーターがより安心して応援購入を楽しめる環境を強化したことに加え、いち早く応援購入したいプロジェクトの開始通知を受け取れる機能を始め、Makuakeサイトのトップページのリニューアルやランキング専用ページの作成等、応援購入体験をより豊かにする新規機能を継続してリリースしております。さらに、サポーターのニーズに合わせたクーポンの配布やメルマガの配信等各種CRM施策を進めることでリピート応援購入を促しました。

しかし、第3四半期から獲得を開始した優良な新規及びリピート実行者によるプロジェクトのうち開始時期が想定より遅れることになった案件が多数発生したことや地方及び海外実行者における動きが前年同四半期に比べ緩やかだったことが影響し、応援購入総額は前年同四半期比2.2%減少の12,644,500千円となりました。

販管費については、広告宣伝費を中心に社内ROI基準に基づくコントロールを徹底し、不要なコストを積極的に精査すると同時に、費用対効果の向上を図ってきました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,731,751千円（前年同四半期比1.7%減）、営業損失は114,084千円（前年同四半期は営業損失459,644千円）、経常損失は110,983千円（前年同四半期は経常損失454,328千円）、四半期純損失は162,106千円（前年同四半期は四半期純損失462,569千円）となりました。

なお、当社は応援購入サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末の総資産は6,697,122千円となり、前事業年度末に比べ1,258,088千円の減少となりました。

流動資産は1,303,999千円減少し、5,757,288千円となりました。主たる要因は、プロジェクト預り用預金が1,036,099千円減少したことによるものであります。

固定資産は47,835千円増加し、939,834千円となりました。主たる要因は、無形固定資産が222,785千円増加し、投資その他の資産が174,540千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債は1,745,638千円となり、前事業年度末に比べ1,103,755千円の減少となりました。

流動負債は1,094,907千円減少し、1,695,926千円となりました。主たる要因は、預り金が1,067,681千円減少したことによるものであります。

固定負債は8,848千円減少し、49,711千円となりました。主たる要因は、勤続インセンティブ引当金が9,260千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産は4,951,484千円となり、前事業年度末に比べ154,332千円の減少となりました。主たる要因は、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が162,106千円減少したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、Makuakeサービスを中心に実行者及びサポーターによりよい体験を提供し、繰り返しサイトをご利用いただけるよう、リピート実行者及びリピートサポーター向けの施策展開に注力してまいりました。

しかしながら、継続している原材料高や物価高により実行者のプロジェクト掲載、サポーターの応援購入の動きに一部変化がみられていることや第3四半期から獲得を開始した優良な新規及びリピート実行者によるプロジェクトのうち開始時期が想定より遅れることになった案件が多数発生したことにより当第3四半期累計期間の業績は計画水準を下回って着地しております。

外部環境は今後も同様の状況が続くと想定されており、かつ、優良プロジェクトの掲載時期は実行者の事由により今後も変動する可能性があることを考慮し、2023年10月24日に開示した業績予想から売上高を3,603百万円（前年同期比5.4%減）、営業損失は97百万円（前年同期は営業損失489百万円）、経常損失は93百万円（前年同期は経常損失482百万円）に修正いたします。また、特別損失として投資有価証券評価損を計上したことから当期純損失は152百万円（前年同期は当期純損失491百万円）に修正いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,148,698	4,040,677
プロジェクト預り用預金	2,265,771	1,229,671
売掛金	483,759	363,457
その他	170,340	130,764
貸倒引当金	△7,282	△7,282
流動資産合計	7,061,287	5,757,288
固定資産		
有形固定資産	4,664	4,255
無形固定資産	541,620	764,405
投資その他の資産		
その他	353,250	178,710
貸倒引当金	△7,537	△7,537
投資その他の資産合計	345,713	171,173
固定資産合計	891,998	939,834
繰延資産	1,924	-
資産合計	7,955,211	6,697,122
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	28,866	20,799
預り金	2,301,067	1,233,386
その他	460,900	441,741
流動負債合計	2,790,834	1,695,926
固定負債		
退職給付引当金	2,435	3,839
勤続インセンティブ引当金	55,132	45,872
その他	992	-
固定負債合計	58,560	49,711
負債合計	2,849,394	1,745,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,127,283	3,134,287
資本剰余金	3,127,283	3,134,287
利益剰余金	△1,202,840	△1,364,947
自己株式	△625	△659
株主資本合計	5,051,101	4,902,969
新株予約権	54,715	48,515
純資産合計	5,105,816	4,951,484
負債純資産合計	7,955,211	6,697,122

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,779,726	2,731,751
売上原価	533,804	639,302
売上総利益	2,245,922	2,092,448
販売費及び一般管理費	2,705,567	2,206,533
営業損失(△)	△459,644	△114,084
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	31	22
講演料等収入	5,912	3,855
助成金収入	3,656	340
その他	1,382	823
営業外収益合計	10,987	5,046
営業外費用		
株式交付費償却	5,491	1,924
その他	180	20
営業外費用合計	5,671	1,945
経常損失(△)	△454,328	△110,983
特別利益		
固定資産売却益	-	111
新株予約権戻入益	-	6,200
特別利益合計	-	6,311
特別損失		
投資有価証券評価損	-	78,240
特別損失合計	-	78,240
税引前四半期純損失(△)	△454,328	△182,912
法人税、住民税及び事業税	8,241	8,287
法人税等調整額	-	△29,093
法人税等合計	8,241	△20,806
四半期純損失(△)	△462,569	△162,106

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

第2四半期会計期間において、応援購入サービスMakuakeでプロジェクト実行者への送金時期を短縮いたしました。従来、「プロジェクト終了月の翌々月3営業日」としておりましたが、「プロジェクト終了月の翌月25日」へ変更しております。これにより、プロジェクト実行者のキャッシュフロー改善を支援し、応援購入された商品やサービス提供の円滑化の後押しすることで、応援購入体験の向上が期待できます。

この結果、四半期貸借対照表の「プロジェクト預り用預金」及び「預り金」が1,095,418千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、応援購入サービス事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	12,854千円	82,849千円